

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



廣野っ子



酒田市立広野小学校便り

令和3年9月15日

4,5年生が自然体験学習を行いました。

9月2日と3日、好天に恵まれた中、4年生と5年生が鳥海高原家族旅行村において自然体験学習に取り組みました。例年は2泊3日で行っていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、昨年度は日帰り1日、今年度は日帰り2日での実施となりました。時間の制約がある中でしたが、1日目は火起こし体験と野外炊飯、2日目は鳳来山登山を中心に充実した活動をする事ができました。校内にも写真を掲示しておりますし、本校ブログでも活動の様子をご紹介しておりますが、この紙面にも写真を掲載いたしますので、ご覧ください。



限られた時間の中でしたが、貴重な学びの体験をすることができた2日間でした。火起こし体験や野外炊飯では、お互いに声を掛け合ってそれぞれが臨機応変にすべきことに対応していくことを協力というのだということを学びました。登山では、自然の中心にいるのが必ずしも人間でないと感じ、自然への畏敬の念を高めると同時に、山や森林の環境を保全することが水資源や海洋資源の保全につながり、気候変動を食い止めるのにも大きく影響していることを学びました。広野小学校を引っ張る高学年として、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。何よりも、子どもたちが笑顔で挑戦していることに頼もしさを感じた2日間でした。

今年度後半の学校行事等について

新型コロナウイルス感染の今後の状況が、なかなか見通せない状態です。県の感染拡大防止特別集中期間は9月15日まで延長となりましたし、全国的に見てまだまだ感染拡大防止の取り組みが必要な状況です。このことから2学期の主な学校行事の計画を次のように考えています。

- ・9月17日のワンデーマーチは天候さえ崩れなければ予定通り実施します。
- ・10月7～8日に計画している6年生の修学旅行は、当初の予定から訪問先を県内（置賜、村山地方）に変更し、1泊2日の計画で準備中です。
- ・11月6日に実施予定のポプラ発表会は、昨年度と同様に発表ごとにその学年の保護者の皆様に入れ替わっていただいて実施できないか検討中です。

いずれの行事も、マスク着用、手指消毒、換気、健康観察の徹底など感染防止対策を十分に行うたうえで実施します。ただし、感染状況の変化によっては変更や中止もあり得ますのでご了承ください。

危機回避学習（火災対応）を行いました。

9月9日、今年度4回目の危機回避学習を行いました。今回は火災を想定した訓練を、職員が欠けているという設定で行いました。本番さながらの避難訓練をすることができました。今年度は、事前・事後の学習として様々な場面を想定して自分だったらどのように行動するかをじっくり考える時間を大切にしています。何かあった際に自分で考えて行動する、特に上級生は校内にいるときや登校中など自分と周囲の下級生をどのように守るかなども含めて状況を判断しながら行動する術を学んでいます。

タブレット活用、その後

4月から児童一人につき1台のタブレット端末が使用できるようになって、半年近くが経過しようとしています。各学年の授業内容や発達段階に応じて使用のタイミングは異なりますが、夏季休業前から、週末にはタブレットを持ち帰り家庭学習で活用するようになりました。夏季休業ではタブレットを活用した宿題もありました。夏季休業中、学童保育に子どもたちの様子を見に行ったときのことです。1年生の児童に「校長先生、タブレットの宿題、終わったよ」と誇らしげに報告をもらったことがとても印象に残っています。子どもたちの適応力の高さには目をみはるばかりです。日々の授業を参観していると、すでにタブレットは子どもたちにとって文房具の一つとなっていることが感じられます。教師が教えるのはタブレットの基本的な活用の仕方であとは自分で考えて試行錯誤を繰り返し、用途に合った使い方を自分で考えるという学習活動も多くみられます。教科書やノートと併用しながら、自分に合った使い方をしている子どもたちがどんどん増えています。これから先の予測不能な未知の世界を生き抜くためのツールとして、また私たち大人が気づかない活用の仕方を子どもたちが見つける思考と発想のツールとして可能性は無限大であるように思います。今後も、姿勢や視力など健康に留意しながら、タブレット端末の活用を進めていきたいと思ひます。

